

「自転車ヘルメット着用推進 モデル地区」指定 宣言式



春野地区の取り組み

—自転車ヘルメット着用推進モデル地区—

ヘルメットの着用状況による致死率は、着用している場合と比較して、着用していない場合の約2倍と高くなっています。

自転車用ヘルメットを着用し、頭部を守ることが重要です。



01

春野高校が自転車通学時のヘルメット着用義務化 「自転車ヘルメット着用推進モデル校」指定

春野高校では、市内の高校で初めて令和6年9月に自転車通学時のヘルメット着用を義務化し、高知南署から「自転車ヘルメット着用推進モデル校」に指定されました。同校では、PTAや市内のタクシー業界の寄付により在校生のヘルメット購入の補助金を手厚くするなど、保護者等も含め学校全体で着用率向上に取り組んでいます。

この春野高校の取組を学校だけに留めることなく、春野地区全体へ広げていくため、春野地区を「自転車ヘルメット着用推進モデル地区」に指定し、春野高校や高知南署をはじめとする関係団体と協力し、春野地区のヘルメット着用率向上に取り組んでいくこととしました。

(裏面へ続く)

02

学校から地域へ広がれ！

春野地区の「自転車ヘルメット着用推進モデル地区」指定

令和6年12月6日、高知市役所本庁舎で、高知県立春野高等学校、春野地区町内会連合会、高知南警察署、高知市長らによる「春野地区の自転車ヘルメット着用推進モデル地区」指定宣言式が行われました。

これから関係団体と協力しながら、自転車ヘルメットの着用率向上に向けた取り組みを進めていくことを宣言しました。



宣言書

春野地区をヘルメット着用推進モデル地区とし、共にヘルメット着用率向上に取り組みます。

令和6年12月6日

高知県立春野高等学校

校長 藤田 覆子

春野地区町内会連合会

会長 灰賀 嗣志

高知南警察署

署長 森 成人

高知市長 東名 龍吾

▲ 宣言書

◀ 宣言式の様子

03

春野中学校で自転車ヘルメット着用呼びかけ活動

令和7年1月15日の朝、春野中学校で自転車のヘルメット着用を呼びかける活動を行いました。活動には、春野中学校の先生や生徒、春野高校生徒会、地元の交通安全会議、高知市交通安全母の会連絡協議会、高知南警察署、高知市くらし・交通安全課が参加。母の会から春野中学校に横断幕が贈呈されました。



▲ 横断幕を持ってヘルメット着用を呼びかける春野中学校の生徒の皆さん



▲ 春野高校の生徒会は啓発ティッシュを配りました

「自転車ヘルメット着用推進モデル地区」になった春野地区では、関係団体と協力して、春野地区の自転車ヘルメット着用率の向上に向けて取り組んでいきます。このような活動が他の地域にも広がり、高知市全体の着用率が上がることを願っています。